

第 26 回無担保社債（トランジション・リンク・ボンド）レポーティング（2026 年 3 月末時点）

2026年2月27日発行の第26回無担保社債（トランジション・リンク・ボンド）における、KPIsの実績値及びSPTsの達成状況等に関する情報を以下の通り報告いたします。

<KPIsおよびSPTs>

KPI 1	Scope1およびScope2における温室効果ガス排出削減率
KPI 2	ポートフォリオの新型航空機比率

KPI 1の定義：当社および主要連結子会社を集計範囲とし、GHGプロトコルの算定ルールに基づき算出したScope1とScope2の合計の温室効果ガス排出量をもとに、2019年度からの削減率を算定

KPI 2の定義：当社子会社のJackson Square Aviationの事業を対象。現行航空機に比して燃費効率が良く、CO₂排出量の少ない機体を「新型航空機」と定義。対象機体はA220 / A320NEO / A321NEO / A330NEO / A350 / B737MAX / B787。目標・実績はともに正味帳簿価額ベースで算定

SPT 1	2028年度までにScope1およびScope2における温室効果ガス排出量を45%削減（基準年度：2019年度）（判定日：2029年10月31日）
SPT 2	2028年度までに航空機ポートフォリオの新型機比率82%（判定日：2029年10月31日）

<レポーティング>

・ KPIsの実績値、SPTsの達成状況

	2019年度	SPT (2028年度)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
当社グループ連結Scope1およびScope2（マーケットベース）温室効果ガス排出量（t-CO ₂ eq）	11,292	-	3,180 ^{※1}			
KPI 1：Scope1およびScope2（マーケットベース）における温室効果ガス合計排出削減率（%） （基準年度：2019年度）	基準年度	45	71.8			
KPI 2：ポートフォリオの新型航空機比率（%）	-	82	78.9 ^{※1}			

※1 2025年度の温室効果ガス排出量データおよびポートフォリオの新型航空機比率は、独立した第三者機関であるソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による限定的保証を受けています。

◆ **SPTs達成に影響を与える可能性のある情報（当社グループの非財務目標の更新等）**

温室効果ガス排出量(Scope1,2)における2030年度目標を前倒して達成しました。これを受け、2050年ネットゼロに向けた中間目標の見直しに着手しています。